



R.I.District2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ

2014-2015 年度 R I 会長 ゲイリーC.K.ホアン
2014-2015 年度 魚津RC会長 平崎 暉夫

2933~2935回例会
2014.9
ホテルサンルート魚津
海の駅 蟹気楼・喜楽

さらに健康・親交・奉仕

魚津・魚津西 夜間合同



魚津西RCとの夜間例会懇親会は約70人が出席



野外

写真右上は魚津城の戦いなどに会員二大町小。下は、道の駅蟹気楼一角に設置されたスイングベルについて寄贈者の生駒さんから説明を聞く会員。

夜間合同例会は16日喜楽であり、魚津からは30人が出席。魚津西ロータリー・牧野健吉会長の挨拶、魚津・平崎会長の乾杯の発声に続き約2時間歓談しました。
野外例会は26日に開き、大町小に開設されている魚津城跡・資料館でボランティアガイドの上野恭子さんから説明を聞きましました。蟹気楼ロード家持碑の清掃は中止になりました。

7月に生駒さんが市に寄贈したスイングベルが近くに設置されており、ベルに込めた疎開から現在までの気持ちを現地で聞きました。まだまだ真新しいロープを引くと、ベルの心地良い音があたりに響き渡っていました。
5日の例会ではハローワーク魚津の森本滋所長が卓話されました(2頁に要旨)
早朝例会は14日、「海の駅 蟹気楼」で開かれました。夏から秋に移る爽やかな空の下、新鮮な空気を吸いながらラジオ体操で汗を流しました。

9月は通常例会に加え、早朝例会、魚津西ロータリークラブとの夜間合同例会、野外例会が開かれました。健康を誓い、親交を深めたり、郷土の歴史を学んだりしました。

早朝



体操で体をほぐす会員。ぱらつきはご愛嬌

求人(7月)は県内トップ

森本所長 管内雇用情勢を紹介

第2933回例会は5日、ホテルサンルート魚津で開きました。ハローワーク魚津の森本滋所長を卓話ゲストに迎え、「新川地域の雇用情勢」と題した話を聴きました。平崎会長は挨拶で防災について語り、朝野昌成さんが監査報告しました。

■女性の9割 事務希望

森本所長は、7月の有効求人倍率は1.86で富山県内で一番高く、人手不足となっていることや、前年7月から今年7月をみると、有効求人数435人、有効求人倍率は0.33ポイント高くなっていることを指摘。

一方で、新規求職者の3割が在職者で転職を考え、4割が自己都合離職者で占めているとの数値を示されました。女性の9割が事務職を求めているのも特徴で、年齢階層別求職状況では年齢が高くなると就職率が低くなる傾向があるとのことでした。

■障害者雇用 達成企業は45%

高齢法が改正され希望者が65歳まで働くことが出来る制度の早期導入を求めていること、障害者雇用状況として管内は、法定雇用率達成企業率は45%と低いといった課題を挙げられました。



管内の雇用情勢について話す森本所長

挨拶要旨 9月1日は「防災の日」でした。近年、台風の発生時期が早く大型化しているように感じられます。「自分だけは死なない」「自分だけは過ちを起こさない」「自分だけは災害に遭遇しない」といった誤った防災心理があるようです。

2011年の東日本大震災で「釜石の奇跡」と言われた事例ですが、小学生・中学生が避難場所から園児を背負いながら高台に逃げた。それを見て大人たちも高台に避難した。想定にとらわれず周りの状況から最善を尽くすということでした。

この機会に防災・減災について、家族で話し合ってください。



Happy Birthday



70歳になります。来年は八尾で踊りを見ながら祝えたらと思っています。



妻は63歳になります。ロータリーで人生の9割を勉強させていただきました。



魚津に来たのが大震災の年。妻は災害時は「動けない」と言います。天命と思っています。



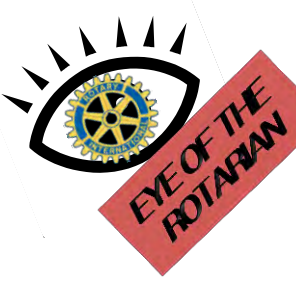
夫の誕生日を祝ってもらいありがとうございます。海外に赴任しており、寂しい気持ちです。



妻は作業療法士。腰痛持ちとしてはリハビリで世話にならないようにします。



お陰さまで73歳になりました。今後ともよろしくお願います。



早朝例会のあった日の「海の駅」の様子です。新鮮な魚介を求める人が押し寄せました。午前7時前だというのに駐車場はほぼ満車。買った物をした人たちの抽選の列も長く伸びました。「魚津の魚」というブランドの強さを再認識させられるです。新幹線客もどんと受け入れたいところ

Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column Essay Column Essay

死せる孔明 生ける仲達を走らすとは三国時代の有名な故事。蜀の諸葛孔明は魏の司馬仲達との戦いの最中に病死するが「孔明の策略」と恐れられた仲達は戦地を離れる蜀軍を撃つどころか、逆に退却してしまった。命を落としてもなおその威光が残る。「偉大」とはそんな一面を持つものなのだろう。

さて、日本人がこれまでその頂を窺うこともできなかったテニスの4大大会（全英・全米・全仏・全豪）の一つ、全米オープンで錦織圭選手が準優勝した。決勝の舞台に立った錦織選手は、今後の大会でも畏怖を持って他の選手からみられるに違いない。24歳。絶頂期はこれからだ。「偉大」な選手への階段をまた一歩登り、より強いオーラを発していくことだろう。

スポーツではワールドカップ以来、消化不良状態の続くサッカー日本代表、強い日本人力士が不足気味の大相撲、中国・韓国選手に席卷されるゴルフの日本ツアーなど、悔しい思いを重ねるばかりだっただけに今回の活躍には溜飲を下げることができた。

「国枝がいるじゃないか」

この全米オープンテニスでもう一つ話題になったことがあった。王者、ロジャー・フェデラーの残した言葉である。フェデラーは今大会、優勝したクロアチアのチリッチに準決勝で敗れたが、4大メジャーで史上最多17回の優勝を誇るスイス出身のプレーヤーである。

その言葉とは数年前のインタビューでのことだそうだが、錦織の活躍で注目された。記者から「日本のテニス界にはなぜ世界的な選手がないのか」と問われ、「何を言っているんだ。国枝慎吾がいるじゃないか」と答えたというのだ。

偉大な王者の教え

国枝慎吾。どれだけの日本人がこの選手を知っているだろう。東京出身の30歳。北京パラリンピックではシングルの金メダル、アテネではダブルスの金。今回の全米オープン車いすの部でも単複ともに優勝した。2006年から世界ランキング1位に君臨し、無敵の強さを誇っている。フェデラーはグランドスラム（4大大会すべてで優勝すること）について聴かれたときでも「国枝が先」と敬意を示している。

美しい勝利こそ

勝ち続けることの困難が身に染みている王者ならではの言葉である。トレーニングを重ね、メンタルを鍛え続ける。膨大な時間と数々の犠牲を編むようにしてきた者だけが、栄光のトロフィーを手にできる。そのことを嫌というほど知っているからだろう。カテゴリーは違っても流した汗の尊さは同じだと指摘したのだ。勝利に傲らず、対戦相手、チームメイト、師をリスペクトする。これも「偉大さ」の欠くことのできない要素とあらためて知らされた。

審判の目をごまかすために演技で倒れてみせ、ペナルティーキックを得ようとするサッカー、実際には逃げているのに技をかけたように見せてポイント稼ごうとする柔道など、近年の勝利至上主義には辟易させられる。アジア大会はどうだろう。バドミントンではありえない風も吹いたようだが。

メダルの数も大事かもしれないが、美しい勝利にこだわってほしい。フェデラーの言葉にそんな思いを強くした。かつて栄光の頂に立った偉大な日本人選手がそうであったように。

(ま)

我以外
皆我師

家具製造の株式会社野澤木工（野澤

良成社長・住吉3956-10）におじゃましました。

家具と言っても主に学校や商業施設、病院、マンションなどで使われる棚や収納、カウンター類が多く、オーダーメイド品ばかり。これらの製造・取り付けを行う。

これからの季節、学校関係の注文が増えるということで、9人いる職人さんたちは黙々と手を動かしておられました。

決まった寸法や形のものを大量に生産するのではなく、むしろ、その都度、仕様の違う製品の納入にきっちり対応するには、**高い技術力**が要求されます。



職人の腕が何よりなのですが、同社の自慢は1台○千万円というドイツ製工作機械を複数導入していること。県内でも数台あるかないかという優秀な機械で、複雑な配置のダボ穴をたちどころに空けたり、木材に樹脂板を寸分違わず貼り付けたりという作業が効率良く行える。

左の写真は、こうして作られた携帯ショップのカウンター。ややこしい形の板を切り抜くだけでも大変そうです。写真上は、板のヘリに樹脂板を貼り付ける超高価な機械。当然、県内で導入している家具メーカーはごくわずかです。

会社の設立は昭和47年。野澤社長は「営業ということをしたことがない」と言います。製品が市場で評価され、受注に結びついている証でしょう。

最新技術を積極的に取り入れ、効率化を図る一方、「いいものを作ろうと思えば、もうひと手間かけることが大切。採算性ばかりではだめ」と野澤社長のこだわりが息づく作業場はほどよい緊張感のある空気に包まれていました。



《案内》

▼ロータリー特別公開セミナー
日時 10月4日（土） 13時～14時30分
会場 高岡市民会館
講演 「日本の再生…地域の役割と文化芸術の力」
前文化庁長官 近藤誠一氏

前文化庁長官 近藤誠一氏

▼こびとづかんインクルーパ
10月10日～13日くらべ牧場
まさばの風（新川育成牧場）・宇奈月国際会議場セシネ・魚の駅「生地」
子供たちに大人気のキモカワイイこびとたちがやってきます。こびと探しツアー（牧場）やこびとに変身できるVR体験（セシネ）など、満載のイベントを楽しんでください。北日本新聞創刊130周年記念事業。

《ニコボックス》

▼天候は定まらないが、確実に秋に入ってきました。元気に過ごしたいと思います。 平崎

▼「飛鳥2」で北海道旅行に行ってきました。大変、楽しかったです。 野澤

《今後の例会》

- ▼10月10日 夜間例会（旬の会）会場11いけがみ 18時30分点鐘
- ▼10月17日 ゲスト卓話 藤田尚樹魚津年金事務所長
- ▼10月24日 米山奨学生卓話・職業奉仕表彰
- ▼10月31日 卓話 杉野芳宏さん

《誕生日》

- ▼中田夫人（10月12日）
- ▼武隈博信さん（10月15日）

《おくやみ》

- ▼中田薫様（幹事・中田幸雄さんのご尊父）
「ご冥福をお祈りいたします」

—おめでとーございます—

《出席報告》

- ▼2933回 28人 79.41%
メイクアップ 愛宕
- ▼2931回 28人 76.47%
メイクアップ 中島
修正出席率 76.47%
- ▼2935回 30人 85.29%
- ▼2933回 28人 82.35%
メイクアップ なし
修正出席率 82.35%
- ▼2936回 28人 79.41%
メイクアップ 稲盛・羽田
- ▼2934回 28人 61.76%
メイクアップ 朝野・愛宕
メイクアップ 大村・坪野・中田
修正出席率 61.76%